

1. 本授業科目の基本情報			
科目名（コード）	マネーマネジメントⅡ（TDB135）	配当学年	1
講義名（コード）	マネーマネジメントⅡ（TDB135）	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタルビジネスコース	講義期間	秋学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	沼波：宮澤・居山	授業形態	講義
成績評価教員	沼波：宮澤・居山	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	本講義は、実務家教員による授業である。		

2. 本授業科目の概要	
目的（位置づけ）	企業金融と資本市場の基礎知識を身につける
到達目標	自分の関わるビジネスを支える資本調達を構想できる
全体の内容と概要	企業金融および資本市場の仕組みや推移と最近の金融技術革新が与える影響を学ぶ
授業時間外の学修	インターネット上の関連記事に目を通し興味を引かれたセミナーを自主聴講する
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容

1	中村毅夫	企業金融と資本市場ーはじめに
2	中村毅夫	起業と資本
3	中村毅夫	企業の資金繰り
4	中村毅夫	外部資金調達
5	中村毅夫	コーポレートガバナンス
6	中村毅夫	ー
7	中村毅夫	会計アプリの活用
8	中村毅夫	技術革新と資本市場 1ーリーマンショック前
9	中村毅夫	技術革新と資本市場 2ーリーマンショック後
10	中村毅夫	暗号資産の登場とそのインパクト
11	中村毅夫	クラウドファンディングとICO/STO
12	中村毅夫	スタートアップの資金調達事例
13	中村毅夫	デジタル債とDVP
14	中村毅夫	起債自動化とDeFiーまともに代えて
15		

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	